

第24回「くまもと県民文化賞」受賞者一覧

(別紙)

平成26年1月6日
文化企画課

部門	整理番号	受賞者・団体名 年齢 代表者氏名 推薦団体 (居住地)	分野 (活動開始年)	受賞理由
地域文化活動部門	①	(団体) オハイエくまもと 入部 祥子 (いりべ しょうこ) 熊本市 (熊本市)	音楽 (平成21年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がいのある方々に対して日常的に音楽の楽しさを教えるとともに、障がいのある方々を中心とした誰もが楽しめる音楽祭「とっておきの音楽祭」を主催。 ○ 「とっておきの音楽祭」は、県内外から出演者約150組の750人、総勢約1,100人が参加する大規模な音楽祭で、小さな親切運動として全国的な評価を受けている。 ○ 障がいの有無に関わらずストリート演奏会を行う活動は、音楽の楽しさを広げ地域を代表する文化活動と認められる。
	②	(個人) 鉦 虚霧洞 (つるぎ きよむどう) (55歳) 本名 鉦 光道 熊本市 (熊本市)	邦楽 (昭和55年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内における尺八の第一人者であり、また熊本県邦楽協会の会長として、邦楽全体の普及・発展に努めている。 ○ 熊本で開催される国内唯一の全国邦楽コンクール実行委員として、本県をはじめ全国的な邦楽の普及に大きく貢献しており、その指導力は高く評価されている。
	③	(個人) 戸田 東蔭 (とだ とういん) (73歳) 本名 戸田 善和 熊本県文化協会 (熊本市)	伝統工芸 (昭和36年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内における木工芸の第一人者としての地位を確立しており、県内文化の振興に貢献している。また併せて、後進の指導にも尽力している。 ○ 木工芸分野に加え、茶道・日本画・俳画など多岐にわたる芸術文化の分野でも活躍している。
	④	(個人) 中村 青史 (なかむら せいし) (79歳) 熊本県文化協会 (熊本市)	文学 (昭和54年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 熊本大学教官時代から、漱石、八雲、徳永直の文学の普及活動を行い、文学への見識の高さは県内でも高く評価されており、講演会等においても活躍されている。 ○ くまもと漱石倶楽部の顧問を務めるなど、各種文化団体の指導者として、後進の育成を含め、普及・継承活動に尽力している。 ○ 漱石旧居、八雲旧居等文学関係の文化財に係る保存・保護に努め、活動のリーダー的存在である。
年間文化活動部門	①	(団体) 天草市立本渡中学校吹奏楽団 【校長 杉山 司】 ずぎやま つかさ 天草市 (天草市)	音楽 (平成22年)〈学校統合〉 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国大会入賞や九州大会における数々の金賞・銀賞の入賞歴を持ち、直近4年間で2回の県吹奏楽最優秀賞を受賞するなど、優秀な成績を収めている。 ○ 吹奏楽コンクール九州大会に4年連続出場しており、本年度も県吹奏楽最優秀賞を受賞している。
特別賞	①	(個人) 小山 薫堂 (こやま くんどう) (49歳) 天草市 (東京都)	文化一般 (昭和60年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成24年の米国アカデミー賞公認、国際短編映画祭において、氏プロデュースの熊本を紹介した作品「くまもとで、まってる。」が「観光映像大賞」を受賞。熊本への文化の振興に貢献した。 ○ 映画やTVの脚本、小説等の執筆、地域アドバイザー等々、その活躍は国内外に広く評価されている。 ○ くまもんの誕生や熊本県世界遺産PR大使など、氏の活動は熊本県のイメージや認知度向上に大いに貢献しており、県民の共感を得、県民の誇りとなっている。

* 年齢は、平成26年1月6日現在